

令和7年度 第10回

# 日南市教育委員会

会議録

令和8年1月22日(木) 午後3時から  
日南市役所 別館2階会議室(会議室5)

- 1 会議の名称 令和7年度教育委員会 第10回会議（定例）
- 2 会議日時 令和8年1月22日（木）  
午後3時から午後4時40分まで
- 3 出欠確認  
(1) 出席委員 都甲政文、別府信一、八木真紀子、佐藤泰信、谷口智子  
(2) 事務局 教育部長兼学校教育課長  
学校教育課学校教育担当監  
生涯学習課課長  
学校教育課課長補佐兼管理係長  
学校教育課管理係主任主事

4 場所 日南市役所 別館2階会議室5

5 傍聴者 0名

6 開会

**【都甲教育長】**

「それでは、令和7年度第10回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」

7 出席者及び傍聴者確認

**【都甲教育長】**

「出席者の確認をいたします。教育委員は全員出席です。事務局の出席者の確認をお願いします。」

**【鬼東部長】**

「事務局は、全員出席です。」

**【都甲教育長】**

「今回は、傍聴者が0人です。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

## 【都甲教育長】

・12月21日、『脱出島絶対王者!!あばれる君熱血授業 in 日南』。これはうちの事業で、あばれる君が来てやってくれたんですけども、400名ほどの集客となっております。ちょっと少なかったんですけども、さすがですね。少ないのをちゃんと逆手にとって、みんな用があるんだとか言っていました。テレビでもやっていますけれども、やっぱりサバイバルとかをやっていて、それをいろいろ教えてくれました。テレビでもしっかり取り上げてくれてよかったなと思いました。

・そして22日は単独訪問で、北郷小中学校に行きました。

・冬休みに入りまして、12月25日はわかすぎ塾でした。各学校の生徒会役員が来たんですけども、わかすぎ塾は年間で2回あります。この冬は新しく役員になった子ばかりなので、資質を高めたいということで、永野建設の社長さんに来てもらいました。いろいろなところで話をしてもらっている方なんですけども、やっぱりリーダーとしてこういう在り方が良いとかを面白く。1時間ぐらいあったんですけども、時間を忘れるぐらいでしたし、子どもたちも割と的確な質問をしてくれて深まりがあったと思います。そのあと、今度は各学校をいろいろシャッフルしながら、自分の学校の取り組みとか、参考になった取り組みなんかを総括的にまとめたということでした。

・続いて12月31日、飢肥城の除夜の鐘をつく会でした。今年は暖かくて、非常に皆さんも普段と違ってゆったりされていました。

・今年に入り1月7日、校長会でした。3学期早々ですので、3学期のあり方ですね。1年を締めくくるといふことと、新年度の準備をしっかりとくださいということをお話をしました。

・それから8日9日を使って、校長フィードバックミーティングを行いました。これを使って評価をするということで、校長から3つ聞きます。「先生たちがどう変わったか」「子どもたちがどう変わったか」「自分がどう変わったか」といふことを聞いて、いろいろ意見交換をしました。非常にやっぱり校長先生方はよく掴んでおられて、良いミーティングができたと思っています。

・続いて9日、国際ソロプチミスト日南という会がありまして、毎年3万円をいただいています。図書購入に使って欲しいということで、もう20数年続いております。合計で90万ぐらいになるような状況ということですよ。

・1月11日は朝から日南市消防の出初式に行きました。今年は風が強かったですね。放水があったんですけど、見に来た人にも皆水がかかっていました。そして北郷中学校がずっと少年消防隊をやっています、行進をしたりとか、あと河川敷で北郷中学校だけの通常点検をやっていて、非常に一生懸命訓練したんだろうなという跡が見えました。

・続いて同日、南郷ハートフルセンターへ会場を移動しまして、令和8年の二十歳を祝う会に出席しました。これ300名くらい来てくれまして、やっぱり皆行儀が良いですね。皆ワーワー言っていたけど、話をするとピシャッと聞いてくれて、以前あったような荒れている成人式とかそういうのやっぱりないですね。あと嬉しいのは、最後に市歌を歌うんで

すけど、一生懸命歌っているんですよね。やっぱり日南市の歌を大きい声で歌うっていうのは素晴らしいなと思って。あれが良い伝統になればいいなと思っています。

・それから次の日 12 日は、県の市町村対抗駅伝でした。去年と同じように市郡の部で 5 位でした。最初はちょっと出遅れたんですけども、かなり巻き返して良かったです。他の自治体、宮崎や都城などは全国大会に出た高校生とか、箱根を走った大学生とかいう子たちが出る中で、やっぱり日南の子たちはある意味雑草軍団みたいな感じで、一生懸命やっていました。

・それから 13 日、ニチワさんに挨拶に行かせてもらいました。2 月にやる読書感想文・感想画コンクールのスポンサーになっていただいているものですから、その報告と、また今年度は社長さんにも感想文の中学生あたりを表彰してもらおうと思っていて実際お願いしたところでした。

・16 日には薬剤師会との新年会がありました。

・18 日はビーチ陸上がありまして、その第 1 回だったんですけども、大堂津の浜を 60 m と 100m 走るというもので、歩くのも結構大変なんですけど、見ているともう 5 歳ぐらいで 60m 走り切っていて感動しました。手づくりの大会で、参加者も結構いらっしやって賑やかにやっておられました。

・それから 19 日は、細田中学校に単独訪問に行かせていただきました。

・20 日、新春こどもの声を聞く会ということで来ていただいたと思いますけれども、非常に素晴らしい会で、UMK がかなり小学生の部を撮ってくれました。今回の子は日南が好きだと、日南のために頑張りたいというのを言ってくれてですね。昔は県内どこそこでやっていたんですけど、今なかなかそれが減っている状況の中で日南がやっているの、ああやって取り上げてもらえるのかなあとと思っています。その裏にはやっぱり先生たちのご指導もあるんですけども、非常に良い会でした。また行かれた方は後で感想をお願いします。

・昨日 21 日が今年度最後の単独訪問で南郷中学校に行かせてもらいました。また感想をお願いします。

## (2) 委員活動報告

### 【別府委員】

1 月 14 日は、わけもんの主張南那珂地区予選会の審査をしてきました。今年は 8 名の高校生が登壇されまして、政治に関する関心、そして若者の投票率が低いという課題について、ただ問題を指摘するだけではなく、自分だったら何ができるかとか、どうやったら変えていけるのかという具体的な解決策まで考えられていて、発表していただいた時にすごく感銘を受けました。今回の発表者のような若い人たちがもっと増えていけば、本当に日本の未来っていうのは必ず明るくなっていくんだろうなと心から感じた時間でした。

続きまして、1月19日、細田中学校の学校訪問に伺いました。不登校傾向にある生徒さんの割合が多いとのことだったんですけれども、先生方も丁寧に対応されているようで安心をしたところでした。一方、小規模校でありながらも発言力とか表現力に優れている生徒さんが多いということもありまして、個人の特性を生かした指導というのが行われているように感じました。

1月20日、新春こどもの声を聴く会の審査をさせていただきました。小学校中学校の二部制で行われたんですけれども、本当に皆さん素晴らしい発表ばかりで、大変難しい審査でございました。さっきのわけもんの主張でもそうなんですけど、審査員には事前に原稿が配布されていて、この原稿を書いた子はどんな子なんだろうと思いつつながら当日発表を見る楽しみがあったりとか、また実際にその思いのこもった発表を聞くと文章から受けた内容とはまた違った魅力が伝わってくるので、弁論大会ならではの面白さかなと思います。またもし皆さんの方でも審査員をされるような機会がありましたら、こういった点でも注目してみると良いのではないかなとお勧めポイントでございました。

#### 【佐藤委員】

ちょっと公私ともに忙しい期間がありまして、あまり教育委員会の行事は参加できておりません。すみません。

こども食堂の件で、不登校の子供さんとか、その親御さんとか、それからあとスクールソーシャルワーカーの方も手伝いに来てくれたりした関係で、ちょっと不登校関係のお話を聞きました。皆さん一生懸命やられているんですが、特に今回感じたのがそのカウンセラーと学校側の連携というか、それぞれが良かれと思ってされているんですけど、そこがしっかり連携が取れていないと保護者の方が逆に不安になったりとか。そこら辺が学校によってかなり差があるっていうのをちょっと聞いて、私も小学校在職時代は確かにそうだったなと。どうしても外部の方っていうことで、情報をどれだけ伝えていいのかなという迷いもありましたし、その辺はやっぱり難しいなあって。だからここが上手く繋がるようになると、もっと居場所が見つかる子どもたちが増えるんじゃないかなって。やっぱり義務教育だから、学校に来なければ手の打ちようがないでは、その子の学ぶ場っていうのをやっぱり保障してあげられていない、責務を果たせていないと思うので、それをちょっと感じたところでした。

そう思いながら昨日南郷中に行ったら、見事にいじめとかその辺を解決したっていう事例も聞きまして、対応してくださった方を見ると、私が在職時代に教務主任会で一緒に頑張っていたメンバーがずらずら居てですね。つまりベテランっていうか、60前後っていうか。だからやっぱりその辺の力量のある先生たちでうまく回っているっていうか、対応できた事例を昨日聞かせていただいたと思うんですけど、逆に言うと若い先生たちがそれをいかに学んでいくかというか、引き継いでいくかというか、そこが難しいんだなあと

思いました。

別の学校では結構若い方が核になってやっている学校もありまして、その辺がまた学校でそれぞれ違うんだらうと。けれども学校によって違うからっていうのではやっぱりいけないと思うので、そこが難しいなと思ったところです。

### 【谷口委員】

私は1月11日の二十歳を祝う会に参加してきました。357人の成人の方がいるっていうふうには資料で見て、先ほど教育長がおっしゃったように、とてもお利口さんに座っている子たちが多くて羨ましいなと思いました。357人の中で地元就職をせずずっと日南にいる子はどれくらいいるんだらうなっていうのがまず気になったのと、これから少子化でどんどんお子さんがいなくなる時に、もっとこう規模が小さくなってしまったら、違う地方に出て戻ってきた子たちがきっと寂しがらうなと思って。なので少しでも日南に戻ったり、日南に住むという子が増えればいいなと思ったところでした。

1月19日は細田中学校の学校訪問に伺いました。今回が初めての中学校訪問で、やっぱりちょっと小学校と違うなと感じました。やっぱり子どもたちがもう、まず挨拶をしっかりしてくれることと、授業に対して真面目に取り組んでいる子が多いなっていう印象でした。自己肯定感の高い子たちも多いよって話を聞いていたので、羨ましいなと。中でも一番羨ましかったのは、本物のプロの話聞く機会があるということで、先生が細田のケーキ屋さんを連れてきたりとか、あとは小学校3校でしっかり連携できているのが強みなんですっていうのを仰っていたので、やっぱり大堂津の子たちもみんな学校が好きになってから中学校に行くので、とても雰囲気の良い中学校だという印象でした。

1月20日は新春こどもの声を聴く会に参加して参りました。もう本当に子どもたちが大人しか見てないような絶対緊張するところで一生懸命話しているそのドキドキ感とかも伝わってきて、本当に感動して、もううるうるしながら聞いていたところでした。1つ1つの言葉を緊張しながらも最後まで一生懸命話している姿に本当に感動しました。

### 【八木委員】

私は12月22日に北郷小中学校の方へ学校訪問させていただきました。小中一貫校の特色を生かした乗り入れ授業など、教育プログラムが本当に定着しているなと思えました。また地域の連携も素晴らしいと感じました。県のいじめ未然防止に関する取り組み推進校ということで、せせらぎ委員会が設置されていて、生徒会を中心に友達の良いところを見つける活動など、そういう取組がとても良いなと思えました。また外国人の受け入れとして日本語教師が週に2回、午前中4時間ということで授業を行うのも初めて参加させていただきました。また心を落ち続けるための掃除前の黙想タイムとか、学力向上のために25分の学習タイムを設けるとか、本当にいろいろなことをされているなと感じまし

た。

1月11日、二十歳を祝う会に私も参加させていただきました。華やかな雰囲気の中で本当に清々しい気持ちになりました。

1月20日、新春こどもの声を聴く会に参加しました。小中学生25名の発表を聞いて、将来の夢とか郷土への想いとか、希望に溢れるメッセージに本当に胸が熱くなりました。

そして昨日、1月21日は南郷中学校の方に学校訪問させていただきました。様々な課題がある中、1つ1つ丁寧に先生たちが向かっていらっしゃるのかなと思いました。学力向上、生徒指導、教職員の人材育成について特にお話を聞いて、分かる授業を目指すとか、家庭との連携ですね、宿題。あと不登校とか、SNS対応で動画を見せることをやっている。やっぱり職員と地域で連携しながら学校運営をしていらっしゃいました。先ほども出ましたけれど、やっぱり20代の若い先生が半分ということで、総合参観の授業であったり、風通しの良い雰囲気づくり、ブラッシュアップサポートされているっていう話を聞きました。

## 9 前回の議事録承認

### 第9回の議事録について了承

## 10 研修について

### 研修1 市内文化財について

(平原係長) (別府委員)	市内文化財について説明。 神話と歴史を本当は繋げたいんだけど、なるほどなと思ったことがあります。前にちょっと聞いたことあったのが、首がいっぱいあるヤマタノオロチ。これが昔村を襲ったっていうのは、実は津波を表しているんだっていうのを聞いたことあって、それ考えるとやっぱり繋がっているところがあるのかなと思ったんですけど、歴史と神話を繋げている、そういった研究をしている団体とかって結構あるんですかね。
(平原係長)	いらっしゃると思います。実際歴史と神話をごっちゃにして話をする、またちょっとまたそれは学問的でなくなりますけれども、ただ、そういう神話がありますと。 例えば先ほど言いました海幸山幸の話っていうのは、環太平洋のいろいろなところにあるんですね。ではなぜそういう話がいろいろ

なところにあるのかっていう背景を辿っていったりとか、そういったところで共通事項を抽出して行って、比較人類学というか、そういう学問ももちろんありますし、必ずしも神話がすべて歴史ではないにしても、そういう神話ができた背景っていうのは、歴史的な何らかの事象の事実があるんじゃないかなというように思いますので、神話をすべて否定する。神話はダメとするのではなくて、もうちょっと柔軟な気持ちで考えることが大切だと思っております。

(別府委員)

せっかくの宮崎だから、そこら辺を神話と繋げるとまた面白い話ができるかなと思いました。ありがとうございました。

(八木委員)

今日はありがとうございました。いつも日南市の歴史って言ったら、大体戦国時代ぐらいから明治時代が主で、こういう話が本当に聞いたかったなと思うので、今日は大変勉強になりました。これまでに遺跡とかを見たことがあんまりないんですけど、こういうものはどこに保存されているんでしょうか。北郷とか、南郷ハートフルセンターなどで少しは見たことがあるんですけど、市民も触れる機会がないので、そういう歴史っていうのはなかなか知る機会がないんじゃないかなと思うんですけど。

(平原係長)

そうですね。まず遺跡としては大体発掘調査が終わると埋め戻したりしますので。国指定とかそういう史跡になれば掘り起こしたりもあるんですが、国指定の史跡になった場合でも、ほとんどやっぱり芝生とかで埋め戻されていますので、そこに説明板を立てたりしています。発掘調査そのものが、実はもう遺跡を破壊しているんですよ。基本発掘っていうのは遺跡を壊しながら行いますので、写真を撮って報告書で残すんですけども、基本行政の場合は我々が把握するので、該当箇所以外は手つかずでそのまま土の中にパックされた状態で残して後世に繋ぐと。どうしても発掘調査しないとけない、道路や高速道路が通るとなると、発掘調査をして記録を保存するという形で、それを図書館とかそういう機関で保管すると。あとは展示をしたりですね。そういったところで、市民への理解を深めていきたいと考えております。

(八木委員)

今日はお話いただいたようなことは何かの資料になっていますか。

(平原係長)

調査したものは報告書として、図書館、県立図書館とかに。国立図書館に置いてあることもあります。あとは展示で、それこそ歴史資料館の企画展とかの中で少しずつ、そういった昔のものを一緒にお示ししたいと思っています。あとは出前授業で文化財係の佐藤さ

(八木委員)

んが行ってくれているんですけど、各学校や放課後児童クラブなどに持って行って、実際に触ってもらってということをしております。

糸井火砕流の堆積物は、猪八重の駐車場から歩いて5分ぐらいのところに見えるので、興味がある方はぜひ。とても見やすいと思います。潟上小学校とかはよく見ていると思います。見てみたい方はご案内します。

## 1 1 報告について

### 報告 1 12月議会報告について

(鬼東部長)

12月議会報告について説明。

(佐藤委員)

黒部議員の質問で、不登校以外の長期欠席についてあったと思いますが、これはどういった意図でのものなのでしょうか。

(鬼東部長)

黒部議員へ質問をしたところ、この長期欠席者っていうのがいじめ不登校以外に連続して長期欠席をしている者という頭があったんじゃないかなと認識しております。多分これは国の調査があって、国の調査の中で長期欠席者があって、その中で不登校が何人とかそういう調査結果を受けての質問だったと思います。黒部議員の頭の中には、不登校以外に例えば海外にスポーツ関係で長期に遠征に行くとかですね。日南だけではなく、日本全国で考えたら小学生がサーフィンとか。そういった人たちに対する対応はどうかとか、そういったことを聞きたかったようです。しかし日南市において把握しているのは、そういう風邪とか腹痛、怪我で累積したら30日以上になるという方々だったということです。

(佐藤委員)

難病とか入院生活で、みたいな。

(鬼東部長)

そういうものもありますね。

(佐藤委員)

分かりました。

## 1 2 その他

### (1) 令和7年度単独訪問のふりかえりについて

#### 【都甲教育長】

先ほど報告でもありましたが、単独訪問を行っていただいて、全体を回って感想と

かあれば聞かせていただきたいなと思うんですけども、いかがでしょうか。それぞれの学校を見てもらったので、いろいろあったと思うんですけど、全体としてはどうなのかなと。皆さんがご覧になってどう思っているかなあと思って、聞かせていただければと思います。

#### 【別府委員】

今年度に行った県外視察でも教室の様子とかを見て、改めてやっぱり日南の子どもたちって素直なんだなっていうところを感じたところでした。また一回ちょっと聞いてみたいなと思っているのが、いつも資料をいただいて、その資料に対して質問をする流れなんですけど、ちょっと来年以降は先生たちの要望のようなものも聞いてみたいと思いました。

また特別支援学級に行った際に、教育長が保護者目線に立ったうえでアドバイスをしている場面が印象に残っていて、その着眼点というか。だから今後自分も学校に行く時に、そこら辺の気づきを何か見つけたいなと思って。ですので、ちょっと来年からはそういった学校の様子を見ながら、気づいたところを発信できるようにしていきたいなと思っています。

#### 【都甲教育長】

そういう指摘っていうのは遠慮なくしていただきたいと思います。やっぱり言ってもらわなければ気づかないということもありますので、そういうのは大事ですね。

#### 【佐藤委員】

やっぱり今、先生になりたいという人が減っているじゃないですか。だから魅力のある職場っていうことを考えると、すごくもったいないなと。

さっきもちょっと触れましたけど、もうベテランの先生がバリバリ一生懸命頑張っていて、OJTで研修を進めているっていうことだったんですけど、今もう幼稚園もそうなんですけど、若い方は給料も若干考えるけど、やっぱり休みがちゃんととれるか。持ち帰りがいいのかとか、あとは自分の能力以上の責任を負わされたくないっていうのもあるんですよ。だからそれを超えるためには、やっぱり研修とか教員としてどうあるべきかとか、その辺をちゃんとやって安心できると、大丈夫、十分やっていけるっていう。自分でもやっていけるという気持ちを育てるのが大事かなと思うんですけど、働き方改革とのバランスで今研修時間もやっぱり前に比べると若干減っていると思うんですよ。だからその辺がなかなか難しいなって、結構学校差もあるかなと思ったんですよ。だから本当に中堅の人たちが中核でバリバリやっていらっしゃって、男性と女性のバランスもちゃんと取れてるところもあれば、本当にもうベテランが一生懸命自分の体に鞭打って支えていらっしゃるところもあったりして。そこをですね、幼稚園にいるといろいろな企業向け研修がいっぱい入ってきているので、学校

もそうだと思うんですけど、だから自分たちのスキルアップのために、何かこういうプログラムをどんどん。免許更新制度とは違うんですけどね。

例えば昨日出たような生徒指導だったら、そのカウンセリングの手法とか、いろいろなそういう不登校とかいじめの裏にあるもの、その辺を研修していくプログラムとかを盛んに言ってきたりするんですよ。それを受けたら、幼稚園とかだったらお給料が上がるよとか。何かこう視覚的な、自分はこうやってスキルアップができたんだっていうのを目に見えるような形で示してあげると、やりがいもそうですし、盛んになってくるわけですよ。現場としてはなかなか受け持つ子どもによってもいろいろその辺が全然違うので、一律に評価は難しいんですけども、若い先生たちのスキルアップをどうやっていくかっていうのを考えないといけないなと。入ったは良いが、自分は自信がないのにクラス担任を任されて、わーっとやられて、もう辞めまして言われて。先輩は一生懸命指導しようとするんだけど、そういう風土が今はちょっと。昔は本当に呼び出されていましたもんね。ちょっと緊急事態だから来いと言われてたら、やっぱり行かなければいけなかったですし、でもすごい勉強にはなりましたね。でも今はそれは通用しないじゃないですか。校内研修の時間もやっぱり短くなっているし、だから今の若い人向けにネットで勉強して研修記録を出して、ブラッシュアップして。本当にこんな素晴らしい職場なのに希望者がいなくて、子どもたちと一緒に自分も育っていくわけじゃないですか。それを喜びではなく逆にストレスとか苦しみでいっぱいになってしまう。もちろんそういうものばかりじゃないでしょうけれど、そんなふうに感じているのはもったいないなあっていうのがありました。

#### 【都甲教育長】

校長会なんかで私が言うのは、やっぱりなかなか今厳しい面もあるから、言えば若い先生たちがつぶれないようになってなるじゃないですか。ただここが難しいところで、あんまりこうお膳立てしすぎるとすると、学ばないんですよ。やっぱり成功体験っていうのも必要だと思うんですよ。自分が頑張って解決したんだって。やっぱりそこが難しいですよ。失敗しても良いんだぞと、後ろについているから頑張って、やってみて。じゃないと一対一での子どもとの対応もできない先生が出てくるわけですよ。子どもはこうやって言いますよ。先生は卑怯だ、2対1じゃないかって。自分がアウェーになるじゃないか、1対1でやれよって子どもも思っていると思います。だからそういうところはやっぱり難しいなあと思います。

#### 【佐藤委員】

スクールソーシャルワーカーの人ともちょっと話したりすると、今踏み込めない先生が非常に多いと。失敗を恐れて、責任も取れないし、ワーッと言われるのが怖いので。今 SNS の世界でもそうですもんね。ちょっと何か言ったらバーツと炎上しちゃって。だからもう失敗を恐れて関わらない。となると本当に問題解決が難しくなって、

だからそこをどうするか。ベテランの先生がまだ頑張っちゃっているというのが、こっちから見ていてなんかね。

#### 【都甲教育長】

頑張っているなと思うけれど、じゃあどうなのと。若い先生たちにちゃんとやらせているのかとか。自分たちでやれば手っ取り早いんですよ。片付くし、

先生たちの中にはいないけれど、一般企業で大事にされ過ぎて面白くないって辞める人がいるそうですね。仕事を教えてもらえない。やりがいがないと。だから若くてもプロジェクトの中に入れてやるとか、していけないといけないですよ。

#### 【佐藤委員】

あと学校は頑張っているけれど、子供の基礎的な部分がやっぱり明らかに育っていないとは感じるんですよね、幼稚園でも。だからもうスクリーンタイムで、もう圧倒的に体を動かしている時間も足りないじゃないですか。ゲームとかスマホとかで。スマホでのコミュニケーションも、自分と違うものに触れる、反対される、文句を言われるっていう機会は少ないと思います。やっぱりスマホって、自分の都合の良い話ばかり入ってくるし、グループLINEなどを作ればみんな同じ趣味、同じような思考の者たちが集まって、これいいよねとか何とかで盛り上がるわけだから。いやそれはっていうのはあんまりないじゃないですか。結局自分の心地良い話ばかりを聞いて育っているので、なかなか集団で違うものとぶつかっちゃうとまた難しい。だからやっぱり家庭とか幼稚園とか、その辺も巻き込んで電子メディアとの付き合い方とかを市を挙げて。もう8時以降は駄目とかやるべきではないのかなと思います。なんかもう、いらぬところで傷ついているなと思うんですよ。対面で話して、顔色を見ながらここまで言っていかなとか、こんなこと言われたら傷つくとか、そういうのはすごく学びになると思うんです。けれどSNSのあれって、文字だけの羅列で勝手に傷ついたりとか、ああいう経験は多感なこの子どもの時期に本当に必要かなっていうか。全く要らないっていうか、足を引っ張るばかりで。失敗を恐れるようになるし、人を信じられなくなるし、自分の可能性も見いだせないような、何か残念な時間を過ごしている子たちがすごく多い気がして、そういうチャレンジ精神もないし学ぶ意向も乏しいしコミュニケーション能力を育てない子たちを先生たちが頑張れってやるのは、これは相当やっぱりきついと思うんですよね。だから先生たちのそういう若い方の研修も大事だし、それを受けとめる子どもたちの基礎となる部分が。やっぱり呼びかけるだけで見ると言っても絶対見ているとは思いますが、何かできないかなというふうに思っています。

#### 【谷口委員】

私は、「とにかくうちの学校は先生たちの仲が良いんですよ」って仰っている校長

先生が何人もいて、そうなんだと思って、これから Chromebook とかが入って行って、ちょっと年配の先生たちが使い方で困った時に、若い先生たちが多分そこでスキルをバンと発揮できると思うから、職員室が和やかな雰囲気であったりとか、おしゃべりしている声が聞こえて楽しそうにしていると、やっぱりこれからちょっと難しい機器や AI が入ってきて、若い先生たちが頑張ってみんなに簡単ですよって言って教えてくれる時が来るのかなあと思いました。ちょっと保護者目線にはなるけれど、これからの授業も若手の先生中心になって楽しくなるかもしれないって思いました。

また、若い先生たちが校長先生からそんなふうに、うちの先生は仲が良いんですよって言ってもらったら、やっぱり嬉しいだろうなと思って。今の若い先生たちが校長先生、教頭先生になった時に、また若い先生たちに言ってあげる方になると良いなと思いました。これまでは学校の先生というと、怒っているようなイメージが強かったんですが、優しい先生も多くなって良いなっていうのが、学校訪問した時にまず思ったことでした。もう閉校になってしまう学校とかも、先生たちがもうみんな家族みたいな感じでとっても暖かかったりして、なくなってしまうのがもったいないなあって思ったりとか。あとはもういろいろ多分大変な学校もたくさんあったけど、やっぱり若い先生の中にも何とかしようって思っている先生たちもたくさんいたので、私としてはこれからの学校がちょっと、そういう AI とか Chromebook になった時に楽しくなるんじゃないのかなって印象でした。

#### 【八木委員】

私も今年は5校行ったんですけども、本当に各学校でいろいろ特色が違う。もう本当にその中で先生たちが生き生きと授業をしていらっしやって、工夫されている様子もすごいなと思っています。ちょっと授業参観の時間が短くて3分くらいなので、入ったら出る、入ったら出るで、もうちょっと長く見たいなっていう気持ちも少しありますけど、授業される先生は短い方が良いのかなと思って、そんなことを考えたところでした。

また、子どもたちはすごくパソコンが好きなんですよっていうお話を聞いて、そういう機器を出すすごく喜んで授業を受けると。ただそれに頼りすぎると学力が落ちるといって、東京の先進校では手書きの授業を取り入れているといことで、クローズアップ現代で取り上げられていましたよね。やっぱり手書きの授業は時間がかかるけれども、それが大事だと。パソコンに打ち込むことしかできない子どもが増えているといことで、やっぱりその辺のバランスを考えながらやっていかないと、佐藤委員の言ったように機械に頼る危うさも今から出てくると思うので、子どもたちの発達にどういう影響が出るのかなというのは、個人的にはとても心配しております。

#### 【都甲教育長】

単独訪問に行って、私がまわして「校長先生今黙っていてね」って言って、他の先

生方に話をさせるじゃないですか。やっぱりそれには意味があって、校長がちょっと違うところから自分の学校の先生の様子を見てっていうふうに。単独訪問が終わった後、先生方が我々を玄関で見送るじゃないですか。あの後にどういう会話をしているかですよ。「余計なことを言って」とは言ってはいけないわけですよ。「自分の仕事をよく分かっているね、ありがとうね」って言えるのか、黙って「お疲れさん」ぐらいしか言わないのか、ものすごく大事だと思います。結局あそこに出てくる教頭以下の何人かの先生は学校の核になる先生なので、例えば3学期に回ったところは翌年また頑張ってもらう。2学期ぐらいに回ったところは後半頑張ってもらって、やっぱり言い方なんですよ。だから支援訪問もありますけれど、単独訪問は単独訪問なりの意味があるので、そこら辺を校長は分かって生かしてくれればいいなと思うんですよ。そういう話はしませんけれども、そこは校長たちは分かってくれなきゃいけないのかなと思うわけですよ。説明は要らないと思うんです。校長なら分かれと。何のための単独訪問か、支援訪問とどこが違うかっていうことなんですよ。そして5分なら5分、時間を渡して喋らせるじゃないですか。あれも何を言うかなんですよ。総括的なことを言うのか。僕としては校長の学校経営に対する思いを、今度は来ている先生に伝えて欲しいんですね。なかなかやっぱりそういう改まった機会がないので、そういう形で頑張りたいなと思っています。ですから今日こういうことを初めて聞いたんですけど、来年以降はやっぱりそういう皆さんのお気持ちも伝えていただいて。

資料も学校によって違うでしょう。簡単に書いているところもあれば、すごくたくさん書いている学校もある。あんまり簡単に書かれると、質問なんかしようがないじゃないですか。もうどこを聞けばいいのかっていう。だからそういうのもあって、ああいう資料以外のこともやっぱり聞いてもらって構わないと思うし、何かもっともっと充実した、中身を膨らませていけるような単独訪問にできればなと思うんですよ。

#### 【八木委員】

中にははじめに関する資料を一番最初に持ってきていた学校もありましたね。12ページ。とても印象的でした。

#### 【佐藤委員】

昔作っていた立場からすると、どうにでも作れるんですよ、正直ね。だからもうそれをそのままじゃなくて、本当にどう思っているのか、どんな気持ちでやろうとしているのか、そこをやっぱり聞かせてもらえたらなと思います。

#### 【都甲教育長】

8年度からはそういう方針でい겠습니까。もう資料があってもそれ抜きで、書いてありませんけどって言ってもらって。私なんか結局皆さんが質問された後なので、あれに書いていないことも結構聞くじゃないですか。もうあれも最初から言ってい

のかなと思ったりしています。

**【八木委員】**

わざわざ資料があるわけだから、やっぱりこれ中心に話さないといけないのかなと。これに対する答えを考えていらっしゃるんだろうなと思って、質問をしていました。

**【佐藤委員】**

まあやっぱりそこに力入れている、あるいはそこを話したい、アピールしたいっていうのはもちろんあるでしょうから、そこにもまた答えてあげないと寂しい、せつかくっていうのはありますね。

**【都甲教育長】**

はい、そういうところもいろいろと考えています。型にはまらないという点でもぜひ、そういう意味ではまた次年度は楽しい単独訪問になるかと思えます。よろしくお願いいたします。

(2) 2月行事予定について

(3) 第12回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和8年2月19日（木） 午後3時から
- ② 場所 日南市役所 附属棟

(4) 日南市教育委員会表彰式

- ① 日時 令和8年2月20日（金） 午後1時から
- ② 場所 日南市役所 附属棟

13 閉会